

2018年度第2回中山競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 水仙賞

水仙（すいせん）は、ヒガンバナ科の多年草。地中海沿岸が原産で、早春に白や黄色の花を横向きにつける。日本では、主に本州・四国・九州の海岸部を中心に自生している。花言葉は「自己愛」「神秘」。

○ 富里特別

富里（とみさと）は、千葉県北部の市。北総台地の中央に位置する。江戸時代には、徳川幕府直轄の野馬放牧地であった佐倉七牧の一部があった。特産品としてスイカやニンジンなどが有名。

○ アクアマリンステークス

アクアマリン（Aquamarine）は、緑柱石のうち透明でスカイブルーの色調をした宝石。名は、ラテン語の「aqua（水）」と「marina（海の）」に由来する。加熱されることでより青みを増し、時間をおいても色褪せることがない。

<第2日>

○ 黄梅賞

黄梅（おうばい）は、中国原産のモクセイ科の落葉小低木。日本には、江戸時代の初期に伝えられたとされる。花が梅に似ていることが名前の由来だが、梅ではなくジャスミンの仲間である。花言葉は「控えめな美」「恩恵」。

○ ブラッドストーンステークス

ブラッドストーン（Bloodstone）は、暗緑色で不透明な素地に赤い斑点の入った石。主な産出地は、インド・オーストラリア・アメリカ。生命力を象徴する石とされており、主に指輪などのアクセサリーに用いられる。

○ 中山記念（GⅡ）

本競走は、昭和11年に創設された重賞競走。創設当初は、3200mのハンデ戦として実施されていたが、幾度かの距離変更を経て、32年に現行の1800mとなり、47年には負担重量が別定重量に変更された。また、当初は春秋2回行われていたが、27年より年1回の実施となっている。なお、第1着馬には同年の大阪杯への優先出走権が与えられる。

<第3日>

○ 潮来特別

潮来（いたこ）は、茨城県南東部の市。平成13年に行方郡潮来町と牛堀町が合併し誕生した。江戸時代には、鹿島・香取・息栖（いきす）の三社詣や、霞ヶ浦水運の中心地として発展した。水郷の市として知られ、河川沿いには多くのあやめが咲き誇る。

○ 上総ステークス

上総（かずさ）は、現在の千葉県中部に当たる旧国名。明治6年に、上総と安房一円を管轄していた木更津県と、下総を管轄していた印旛県が統合して千葉県と改称した。

○ 夕刊フジ賞オーシャンステークス（GⅢ）

本競走は、スプリント路線の充実を図る観点から、平成18年に創設された重賞競走。なお、第1着馬には同年の高松宮記念への優先出走権が与えられる。

オーシャン（Ocean）は、「大洋」「大海」「海洋」を意味する英語。

夕刊フジは、産業経済新聞社より発行されている夕刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ スピカステークス

スピカ（Spica）は、おとめ座のアルファ星。春の宵、南の空に見える白色の1等星。ラテン語で「麦の穂先」の意味を持つ。純白に輝くことから「真珠星」とも呼ばれる。

○ 総武ステークス

総武（そうぶ）は、旧国名の下総、上総の2国と武蔵の国を併せた名称。下総が主に現在の千葉県北部と茨城県南西部、上総が千葉県中南部、武蔵が東京都・埼玉県・神奈川県北東部にあたる。

○ 報知杯弥生賞（GⅡ）（皐月賞トライアル）

本競走は、昭和39年に創設された3歳馬の重賞競走。幾度かの距離変更を経て、59年に現行の2000mとなった。なお、第3着（未出走馬および未勝利馬は第2着）までの馬には皐月賞への優先出走権が与えられる。

弥生（やよい）は、陰暦で3月の呼称。

報知新聞社は、東京・大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 房総特別

房総（ぼうそう）は、安房・上総・下総の総称で、特に安房と上総のこと。また、房総半島の略称。房総半島は、関東地方南東部に位置し、西は東京湾、東は太平洋に面する。太平洋側の海域には黒潮が流れ、カツオ・マグロ・アジ・サバなどの好漁場となっている。

○ サンシャインステークス

サンシャイン（Sunshine）は、「日差し」「晴天」を意味する英語。

○ ローレル競馬場賞中山牝馬ステークス（GⅢ）

本競走は、昭和 58 年に創設された牝馬限定の重賞競走。創設当初より、芝 1800m のハンデキャップ戦として実施されている。

ローレルパーク競馬場は、アメリカのメリーランド州にある競馬場。創設当初より、同場との親善を目的として、競馬場名を競走名に冠している。本競走は、同場より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ 館山特別

館山（たてやま）は、千葉県房総半島南部の市。南房総国定公園の中心地であり、館山湾や館山野鳥の森など、風光明媚な風景が広がっている。

○ 東風ステークス

東風（こち）は、東から吹く風、春風などの意。春を告げる風として雅語に取り入れられている。

○ アネモネステークス（桜花賞トライアル）

アネモネ（Anemone）は、南ヨーロッパ原産のキンポウゲ科の多年草。花の色は赤・白・紫・青などで、ぼかし咲きもある。花言葉は「君を愛す」「恋の苦しみ」。なお、本競走の第2着までの馬には桜花賞への優先出走権が与えられる。

<第7日>

○ 鎌ヶ谷特別

鎌ヶ谷（かまがや）は、千葉県北西部の市。市域は北総台地にあり、江戸時代は幕府の直営牧場である小金五牧の一部とされ、軍馬育成の役割を果たしていた。現在は住宅都市として発展しているほか、プロ野球球団である北海道日本ハムファイターズの 2 軍本拠地「ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム」があることでも有名。

○ 韓国馬事会杯

本競走は、競馬を通じて韓国との国際親善を深め、競馬の水準を高めることを目的として平成 5 年に創設された交換競走。

韓国馬事会（KRA）は、昭和 17 年（1942）に設立された『朝鮮馬事会』を前身とする韓国の競馬統括機関。ソウル競馬場・済州競馬場・釜山慶南競馬場および韓国国内の場外発売所などを統括している。なお、本競走は、同会より寄贈賞を受けて実施されている。

○ フラワーカップ（GⅢ）

本競走は、昭和 62 年に創設された重賞競走。創設当初より、芝 1800m で実施されている。なお、平成 13 年には、負担重量が馬齢重量から別定重量に変更され、現在に至る。

フラワー（Flower）は、「花」を意味する英語。

<第8日>

○ 幕張ステークス

幕張（まくはり）は、千葉県千葉市美浜区と花見川区にまたがる広域地名。かつては東京湾臨海部の浅瀬の干潟であったが、昭和末期以降の大規模な都市開発により、住宅・オフィスビル・大学などが立ち並ぶ都市へと発展している。

○ 千葉ステークス

千葉（ちば）は、関東地方南東部の県。かつての安房、上総二国と下総国の大部分を占める。県内のほぼ全域で温暖な気候を利用した農業が盛んで、東京湾沿岸には工業地帯が広がっている。

○ フジテレビ賞スプリングステークス（GⅡ）（皐月賞トライアル）

本競走は、昭和 27 年に創設された 3 歳馬の重賞競走。創設当初の負担重量は、別定重量であったが、現在は馬齢重量で実施されている。なお、第 3 着までの馬には皐月賞への優先出走権が与えられる。

スプリング（Spring）は、「春」を意味する英語。

フジテレビは、東京都港区台場に本社を置く放送局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。